



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年7月7日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

1

昭和28年4月1日制定の校歌は富田碎花作詞、信時潔作曲。八鹿高校のめざす姿が極めて格調高く表現された名曲です。

- 1 みなかみ遠き谷々の水を集めて合ふところ むすぶにまかす知の泉 けふぞ挙る
学力向上は八鹿高校が果たすべき社会的使命の根幹を成す。

学力向上と進路実現

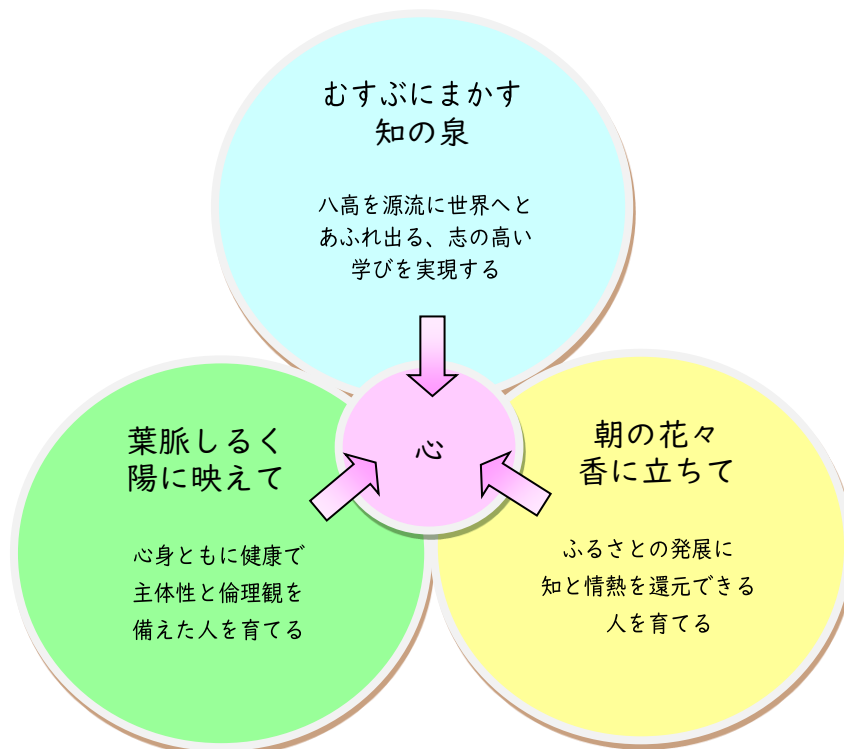
- 2 葉脈しるく陽に映えてつよく命の息づくを 緑の風にひるがへし けふぞ夢む
ホームルーム活動、自治会活動、学校行事、課外活動等は、人格の完成に不可欠な柱である。

青春を謳歌する輝く個性

- 3 濁世を越えて潔く学の新風大らかに 空ゆく雲と照り合ひて けふぞ競ふ
「朝の花々香に立ちて」とあるように、ふるさとの大地に根を張り、養分を得て実りを返すことは、社会において学校が果たすべき重要な役割の一つである。

新たな価値の創造

これらの土台となるのが「命は奇跡である」という感謝の心。一人ひとりが皆、かけがえのない存在であるということを共有できる学び舎の実現をめざす。これが八鹿高校の姿です。



音楽部が歌う校歌の音源が、本校 PTA の WEB サイトにアップされています。ぜひ一度、いえ、ぜひ何度も繰り返し、お聴きください。